

9 施設の使命を達成するための取組 使命3

【使命3】文化芸術の鑑賞の機会を提供する

音楽、演劇、ダンス、美術などの文化芸術に触れる機会を提供することで、感性豊かで多様な価値観を受け入れる区民文化の醸成に貢献する。

あらゆる人が文化芸術鑑賞を身近に感じられるコンテンツと機会を提供します。

本センターの最大の価値ともいえる音楽鑑賞に適したホールの特徴を活かしたクラシックコンサートと、次世代を担う子どものための鑑賞事業、未来に残したい日本の伝統文化・芸能等のコンテンツを自主事業の柱とし、本センターに足を運ぶのが難しい層に対しては、アウトリーチ事業にて対応します。

これまでの展開は継続するも、クラシックコンサートは少々敷居が高い、堅苦しいので行ったことがない、という人にも、興味が持てる演目の導入を図るとともに、それ以外の音楽ジャンルや音楽以外のジャンルにおいても、これまで一緒に取り組んだことのない、さまざまな団体、アーティストの協力を得て、新規性とバリエーションを加えるとともに、ハイカルチャー以外の大衆カルチャーやストリートカルチャー等の展開を視野に入れるなど、利用者の裾野が広がる文化・芸術の鑑賞機会を創っていきます。

【使命3を達成するために具体的な取組】

取組1 クラシック音楽を軸とした鑑賞型自主事業の展開

① 「クラシック名曲入門講座（仮）」を新たに開催

本センターで最も人気を誇る成熟した鑑賞者向けクラシックコンサートである「オアシスコンサート」は、第4期も継続しますが、新たに敷居を低くした入門的なクラシック音楽の解説トークと演奏が楽しめる公演を導入し、クラシックに興味や親しみを持ってもらえる人の裾野を広げていきます。

コマーシャルやドラマ、映画音楽等で誰もが聴いたことのある楽曲や、フィギュアスケートでおなじみの楽曲の特集、また、誰もが知っているベートーヴェンやモーツァルト等の作曲家自身と楽曲の紹介など、子どもから大人までが楽しめ、教養や雑学として知りたいと思ってもらえるコンテンツを想定。

テーマやトークについては、昭和音楽大学の教授でもあり、(一社)アーツブレッド代表理事の三谷氏の協力を得て構築予定です。

② 成熟した鑑賞者向けクラシックコンサート「オアシスコンサート」の展開について

本センターの定番事業で、毎回来場される方も多い企画ですが、その価値や魅力をさらに多くの人に知っていただく活動に力を入れていきます。

アーティストのプロフィールや、アーティスト自身による演目概要紹介等、コンサート内容を想起、期待できる事前情報、事後情報の発信を充実させるなどの取組を強化し、興味を持ってもらえる人の絶対数を増やし、新規動員へつなげます。

9 施設の使命を達成するための取組 使命3

【使命3を達成するための具体的な取組】

取組2 様々なターゲットに向けた芸術鑑賞機会の提供

① 駅・商業施設利用者へ向けたミニコンサートの開催（多くの人たちに発信するオープンアウトリーチ事業）

第4期からの取組として、「ひまわり LIVE デリバリー（仮称）」と題し、駅や商業施設利用者が多く行き交う百貨店のレストランフロアや、ウイング上大岡のイベントスペースを使用した「ひまわりアーティスト」による出張ミニコンサートを開催。ひまわりアーティスト*による小ユニットのアコースティックライブを想定しており、多くの人たちへ様々な音楽をお届けし、音楽のある街上大岡のイメージを醸成するとともに、本センターの活動を訴求する機会としても利用していきます。

本センター開設当初から課題となっている、アクセスのわかりにくさに対し、第3期までにサインの増設やホームページでの案内強化等を行ってきましたが、構造上根本的な解決は難しいこともあり、ゆめおおおか来街者の方々に対して、本センターに対する興味促進への積極的な働きかけとします。

*ひまわりアーティスト=ひまわりアーカイブ登録アーティスト（詳細 36P 参照）

② 子ども・子育てファミリー/小学生/中学生向けの鑑賞事業

館内開催の自主事業として「子どもミーツ♡オーケストラ」や「ウェルカムキッズコンサート」は、初めてホールでの音楽鑑賞する場として好評を博してきました。これらの事業は、子どもたちへ向けた上質な音楽を提供する機会として継続し、小中学校のプラットフォーム事業としても、これまで同様、ご要望に応じた鑑賞型プログラムを提供するほか、「はっち」をはじめとする子育て支援施設での、親子で楽しむ音楽鑑賞会等をアウトリーチ事業として積極的に展開し、本センターへの来館の動機付けにつなげていきたいと考えております。

③ 障害者向けの鑑賞事業

さまざまな障害を持つ方も楽しめる公演をパートナー団体との共催で開催します。

その際には、例えば車椅子の方も利用しやすいよう、ホール前方の客席を反転させ、車椅子スペースの確保にも配慮するなど、各団体の方々が積極的に来館いただける環境を整えていきます。

また、各団体のニーズに合わせた演目を検討するほか、来館が難しい方々に向けてはアウトリーチ事業も積極的に取り組んでまいります。

*「パートナー団体」の詳細は、35P 参照

9 施設の使命を達成するための取組 使命3

【使命3を達成するための具体的な取組】

取組3 大衆文化にフォーカスしたアート鑑賞事業の導入

これまでの事業では、比較的ハイカルチャーの展開が多かったと言えますが、多くの人に親しまれる大衆文化や、若い年代にアプローチするストリートカルチャーなどにもフォーカスした事業を年に1回程度は織り込んでいきたいと考えております。

例)「懐かしの昭和映画の世界展」

昭和モダンな映画ポスターアートの展示と、映画上映の同時開催を想定。

上映映画の関連ポスターの展示など、昭和モダンなクリエイティブにフォーカスした催事を検討しており、大人の世代には懐かしく、若い世代には新鮮なデザインや生活文化を紹介する機会とします。高齢者を中心とした平日の動員にも期待できる映画をピックアップして上映します。

そのほか、新旧の広告や看板のデザイン、レコードジャケットアート等、生活や趣味の世界に広がるアートにまつわる展示やトークショー等新機軸のコンテンツを検討していきます。

取組4 新規性の感じられる公演として専門館のコンテンツを導入

① 横浜にぎわい座プロデュース公演の開催

本センターでは「ひまわり紀行」として、伝統芸能等の公演を行ってきましたが、新たに「横浜にぎわい座プロデュース」による大衆芸能の専門館としての公演を自主事業として展開していき、新規来館者の取り込みを狙います。

② 横浜市芸術文化振興財団のクラシックコンテンツの導入

「横浜文化賞文化・芸術奨励賞」の受賞者で世界の舞台にも立つ新進気鋭のアーティストの演奏会として開催された「18区コンサート2019」は、近隣で俊英の演奏が聴ける機会として、普段行っているオアシスコンサートとは一味違う新鮮さもあり、本センターでも期待度の高い企画となりました。

こうした新鮮味のあるクラシックの人気アーティストや人気企画の公演を、(公)横浜市芸術文化振興財団の協力を得て、上質なクラシックコンサートのラインナップを拡充します。

9 施設の使命を達成するための取組 使命3

【提案者が提案する指標】

- ①クラシック入門講座(仮)や大衆文化鑑賞事業の開催における初来館客のシェア向上
- ②専門性が高く、バラエティに富んだ専門館のコンテンツを取り入れた事業を5年間継続開催する。
- ③ゆめおおか施設内を中心に行う、多くの人たちへ向けたオープンアウトリーチ事業、「ひまわり LIVE デリバリー(仮)」を5年間継続的に開催する。

【業務の基準で設定している指標】

目標値※提案者記載部分

	2年目	5年目
定量指標①:鑑賞型事業のメニューのジャンル数及び実施回数	ジャンル数:5 実施回数:27	ジャンル数:5 実施回数:32
定量指標②:体験型事業の事業数及び実施回数	事業数:10 実施回数:13	事業数:10 実施回数:13
定量指標③:アウトリーチ事業の実施回数	15	18
定性指標①:来場者(参加者)満足度(アンケート集計) * 自主事業参加者に対するアンケート調査+全施設利用者に対する毎年特定月(2月)にアンケート調査を実施	2年にわたる顧客満足度調査の分析結果を踏まえ、自主事業の企画を構築し、施設運営管理に活かす努力をしている。	5年にわたる顧客満足度調査の分析結果を踏まえ、自主事業の企画を構築し、施設運営管理に活かす努力をしている。
定性指標②:参加者の定性分析 * 自主事業参加者に対するアンケート調査の実施 アンケート内容:属性、利用目的、利用人数、利用者年代、ご意見、ご感想等 * 各公演において3~5名のインタビュー調査を実施	2年分の利用者属性把握をもとに、利用世代のアンバランス解消への事業展開への努力をしている。	5年分の利用者属性把握をもとに、利用世代のアンバランス解消への事業展開への努力をしている。

【上記の取組を行う理由】

区民文化センターの果たす役割の中でも文化芸術鑑賞の提供は、事業の大きな柱です。文化芸術の多様性に目を向け、マンネリ化せず、広いジャンルを見据えた展開をすることが、あらゆる人の来館を促すことにつながると考えます。そのために、様々な関連団体や、識者、アーティストの力を借りるなどしながら、より上質で新規性のあるコンテンツの提供を行っていくこととしました。

また、本センターの認知度、利用度については、まだ課題もあるため、アウトリーチ事業については、あらゆる人たちに対して文化芸術の鑑賞機会を提供するとともに、地域の方々との接点を少しでも多くする機会としても捉えています。ついては、これまでの特定の施設に対するアウトリーチ事業のほかに、オープンアウトリーチとして、不特定多数の人たちへ向けた音楽鑑賞提供を行う「ひまわり LIVE デリバリー」の取組を行っていきます。

これらの取組を継続的に行い、利用者の方々の利用状況、満足度等の分析をしながら、事業内容をブラッシュアップしていきます。

10 施設の使命を達成するための取組 使命4

【使命4】幅広い人を文化活動に受け入れ、地域の力を結びつける

年齢、性別、国籍、言語、障害の有無、経済的状況等にかかわらず、港南区の幅広い人を受け入れ、親しまれる施設となるため、社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）の視点も踏まえた利用者本位の運営を行う。また、地域の文化施設として求められる役割と専門性をふまえ、地域コミュニティのベースとなる文化的コモンズの形成に寄与する。

あらゆる人が集い、地域の力が交わる、文化・芸術の交流・情報発信拠点へ。

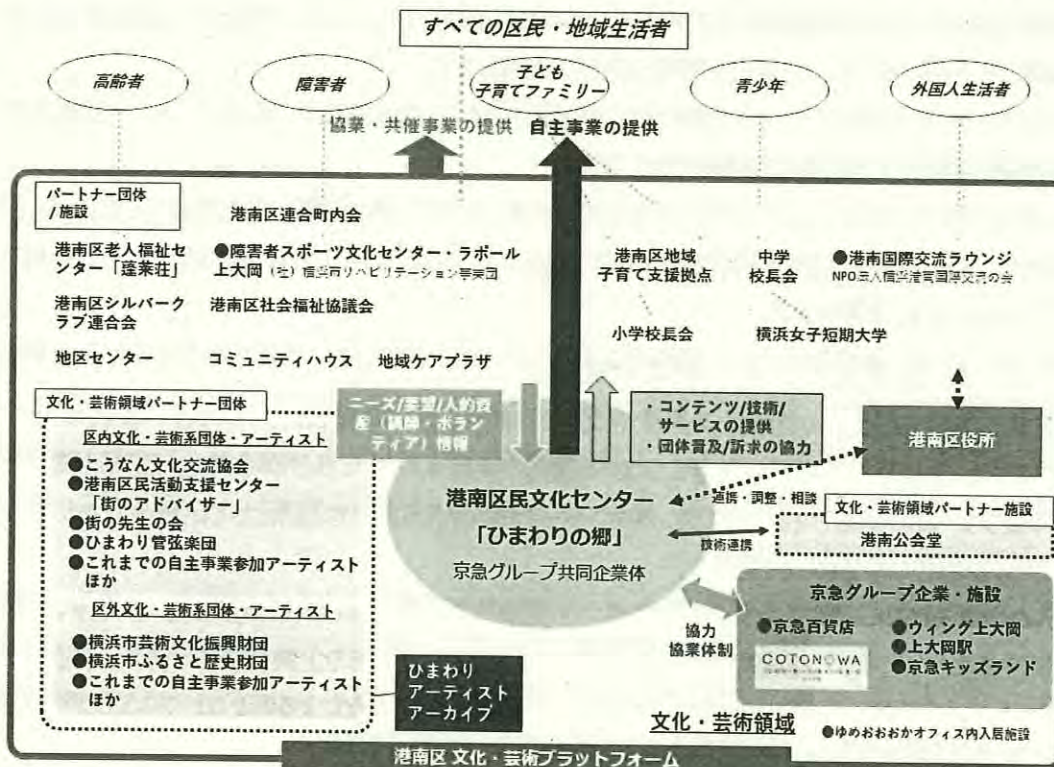
第3期は「ソーシャルインクルージョン」を踏まえた事業、「文化的コモンズ」形成に向けた取組として、あらゆる世代、また障害の有無等にかかわらず、文化芸術活動に参加しやすい環境づくりを進めてきました。第4期は、さらに地域との連携を深め、あらゆる人との接点を増やし、気軽に立ち寄れる場となる取組を促進します。また、来館が難しい方へも、アウトリーチやインターネットを通じて、本センターの文化施設としての取組を発信するなど、交流が持てる機会を提供してまいります。

【使命4を達成するための具体的な取組】

取組1 文化的コモンズ形成のためのプラットフォームの再整備

①パートナー団体との協業事業の活性化

文化的コモンズ形成のためには、港南区の団体や企業をパートナーとして、双方が持つ技術や人的資産の交流により相互のつながりを深め、目的とターゲットニーズに合ったコンテンツの提供が可能な体制づくりが重要であるため、パートナーとなる団体とのコミュニケーションを深めてきました。下記の団体は、周辺課題や要望等の情報提供をいただき、共に事業を創り、共に情報を広めていく関係を構築します。第4期の5年間で、地元企業等を含むパートナー団体の数をさらに増やしていく予定です。また、ゆめおおおか内施設（●マーク）については、利用者の行き来がしやすい団体ですので、双方で同時開催事業や積極的な協働事業を行ってまいります。



10 施設の使命を達成するための取組 使命4

【使命4を達成するための具体的な取組】

取組1 文化的コモンズ形成のためのプラットフォームの再整備

②文化・芸術領域パートナー団体/施設との主な取組について

●区内外 文化・芸術系団体・アーティストのアーカイブ化

これまで、情報コーナーの端末で一部のアーティスト、講師の情報を検索することが可能ではありませんでしたが、本センターとつながりがあり、紹介が可能なアーティストや文化・芸術団体の情報を区民の方々や、各団体の皆さまが、簡単にアクセスできるようアーカイブ化し、ホームページで閲覧できるように整備します。利用者の必要に応じて、アウトリーチ事業として本センターで手配までが可能であることもわかるよう広く伝えていきます。それにより、パートナーアーティストの方々の活動を広く知らしめる一助とするほか、区民の方々のニーズに対し、スピーディーに応えられる体制を実現します。

【区民オーケストラ「ひまわり管弦楽団」をサポート】

上記のパートナー団体の一つで1994年に区民オーケストラとして誕生した「ひまわり管弦楽団」については、積極的なサポートを行っていきます。欧米先進諸国においては、シティオーケストラやシアター専属の劇団等があることが、文化的な街として地元の誇りとなっています。この区民オーケストラを未来へつなげていくため、団員募集や練習場所の特定期間における優先予約・優待料金の適用、演奏会の告知等のサポートを行い、「オーケストラのある街・港南」のイメージも定着させていきたいと考えております。

取組2 “地域と館を結ぶ”専任地域コーディネーターを配置

これまで、各スタッフが利用者とのコミュニケーションをとることで、そのニーズの把握や企画を構築してまいりましたが、日々の運営に追われ十分な情報発信ができないという点も否めなかったことから、地域と文化芸術をつなげていくための地域コーディネーターとして、新たに専任スタッフを配置します。

地域コーディネーターは、既存パートナー団体との協業事業に関する企画調整や、新規パートナー団体の開拓のほか、情報発信者としても重要な役割を果たします。

コロナ禍においてネットによるコミュニケーションがスタンダード化した中で、街の情報と文化芸術をつなげ、広げていくには、ネットによる情報発信が効率的かつ効果的であるため、YouTubeチャンネルを開設し、その地域コーディネーターがディレクターを務めます。

地域コーディネーターは、前述のパートナー団体とのコミュニケーションを密にとり、団体へ取材の申し入れや団体からの紹介先の取材などを行い、港南区の歴史や文化、スポット、区内の識者、アーティストへのインタビューなどを紹介することで、港南区への理解や愛着につながる情報を発信するほか、各団体の文化・芸術活動の広報支援や、本センターの活動紹介も行っていく、本センターを顔の見える身近な場所として区民の方々に親しみを持っていただける活動に取り組んでいきます。

また、地元の企業を訪問し、職業体験や、事業協力の要請等も今後行っていくことを検討しています。一例としては、横浜擦染などに代表される港南区の地場産業にフォーカスし、それらの企業の協力を得て、子どもたちに染物体験やデザイン画制作体験などを提供することで、商品化、ブランド化による新たなビジネス化や未来の担い手輩出への可能性も視野に入れた活動へとつなげていきたいと考えております。

10 施設の使命を達成するための取組 使命4

【使命4を達成するための具体的な取組】

取組3 あらゆる人に対する全館での受け入れ体制の整備

京急グループでは、SDGs への取組の一環として、各グループ施設において、あらゆる人に対応できるための従業員教育や、そのためのツールが導入されています。本センターでも、それらを有効活用し、あらゆる利用者の方々と円滑なコミュニケーションが図れる体制を整えています。一例としては、障害者や外国人の方々と指差しでコミュニケーションを図るツールとして「コミュニケーション絵本」(写真右上)を受付に配備しています。また、グループのサービススタッフ向けに制作された手話入門 VTR (写真右下)なども活用し、スタッフの意識を高めていきます。



取組4 ソーシャルインクルージョンの視点に立った夏休みのオープンデー「ひまわりサマーフェスタ」

夏休み期間の週末2日間で開催される「ひまわりサマーフェスタ」は、ソーシャルインクルージョンの視点に立った、子どもからシニア層、障害者の方々を含む地域の皆様すべてに参加していただける、年に一度のオープンデーとして第4期も継続します。

令和3年のサマーフェスタでは、「アートでつなごう地域の輪」をテーマに、ホールでは、小学生以下の子ども向けの演奏会、大人向けの弦楽四重奏、和楽とターゲットの異なる3種の公演を開催するほか、バックステージツアーを行います。また、音楽ルームやギャラリーでは、障害者支援の取組の一環として、「うすいさと」さんによる発達障害啓発トーク&&ライブと、「ラポール上大岡」との共催でライブペインター KENSUKE TAKAHASHI 氏による、障害者の方も気軽に参加できるアートワークショップを開催することになっており、いずれもラポール上大岡の方や近隣の障害者の方が運営スタッフとしても参加していただくことになっています。

会議室では子ども向けの「工作教室」と大人向けの「フラワーアレンジメント講座」も開催予定で、今後も、あらゆる区民に来館していただくために、さまざまなターゲットに向けた、多ジャンルの催事を全館各所で開催し、誰もが隔ての無いオープンな事業として位置付けていきます。

* ソーシャルインクルージョンを意識した体験型・鑑賞型事業展開の詳細は、前出 25P、32P を参照。

取組5 避難訓練コンサートの開催

施設職員、一般参加者の防災意識の向上、啓発と地域の共生を目的として、コンサート開催時の災害発生を想定し、避難訓練を取り入れたコンサートを行います。令和3年度は、横浜市消防音楽隊に出演いただく要望書を提出しておりますが、調整が難しい場合は音楽隊を別に手配し、港南消防署のレクチャーをセットで開催することも視野に入れ、隔年で行うことを基本としていきます。一般観客は150名定員、施設職員は15名前後を想定し、第4期からは、国際交流ラウンジとの協力で、外国人の会員を30名程度招待することを予定しております。日本語を学習中の方々にとっては、コンサートの観覧も、街中での避難訓練への参加も、経験する機会に恵まれない方も多いため、災害の多い日本で暮らす外国人の方々の不安解消や、近隣に住む人たちとの交流のきっかけの一つとしても、この避難訓練コンサートを活用していく予定です。

10 施設の使命を達成するための取組 使命4		
【提案者が提案する指標】		
①パートナー団体を毎年増やし、プラットフォームをより強固なものとしていく。 5年目:10 団体追加 (いずれも現時点对比)		
②ひまわりアーティストアーカイブの充実 5年目:10~20 団体(個人含む)を追加 (いずれも現時点对比)		
③避難訓練コンサートの隔年開催=令和奇数年に開催		
【業務の基準で設定している指標】		目標値 ※提案者記載部分
	2年目	5年目
定量指標①:社会包摂の実現を目指す事業数	9	11
定量指標②:地域の施設・団体と連携して実施した事業数	21	23
定性指標①:地域コーディネーター担当による地域との連携状況のレポート * 地域との連携の活動は、単なる報告ということではなく、WEB や SNS を通じて、地域の皆さんに興味深く閲覧し、参加動機につながる訴求の一つとして行っていきます。	連携事業レポートを都度ホームページにアップしている	連携事業レポートを都度ホームページにアップしている
定性指標②:バリアフリーの視点からの来館者の声(アンケート調査インタビュー調査) * HP のアクセシビリティや本センターの利用しやすさについては、ホール、ギャラリーにおける事業参加者に対し、主にインタビューによる調査を軸に行います。特定月アンケートの項目にも加え、その結果も参考にします。	調査分析の結果をもとに、改善策を講じるなど、施設運営に活かしている	2年目までに課題に挙げられた内容が解決されている。さらなる取組が進んでいる
【上記の取組を行う理由】		
<p>「文化的コモンズ」の形成に向けた第3期までの取組の方向性をさらに昇華させ、これまで以上に地域との連携を深めていくという観点から、様々な地域団体、機関との話し合いを重ねてきました。各団体のニーズお応えし、ともに魅力のある港南区を創っていくためにも、互いの密なコミュニケーションが非常に重要であることを実感しております。</p> <p>専任の地域コーディネーター担当を配置することは、「私たちに求められているもの」を実現するために、大きな原動力になるものと考えます。</p> <p>地域のパートナー、文化・芸術領域のパートナー、そして区民の方々との架け橋となり、文化・芸術の輪を広げていくことこそが、「私たちに求められているもの」であり、その数を少しずつ増やし、その輪の様々な魅力を発信していくことで、さらにその輪を広げていくという好循環を生み出していくことを目指しています。</p> <p>その取組の成果が見える化できる指標を上記の通り設定し、達成する努力をしております。</p>		

11 施設の使命を達成するための取組 使命5

【使命5】 持続可能性を高める施設運営を行う

法令等に則った施設の保守・点検や日常的な予防的修繕などの維持管理を行い、安全で快適な施設を維持する。また、効率的な経費の執行や収入増の取組等により、安定的な施設運営を行う。

誰もが安心して、快適に過ごせる施設であり続けるための取組を遂行します

本センターは、これまで大きな問題もなく施設・設備（機器類を含む）を使用することが出来ておりましたが、開業から約 25 年が経過し、随所に経年劣化による不具合や痛みが発生しております。利用者の方々の安全のためにも、保守管理と環境維持を適切に行い、施設の長寿命化を意識したメンテナンスを行っていく必要があります。私どもは、3 期にわたる施設管理の中で、課題となる箇所についてのデータを蓄積するとともに、ゆめおおおか管理組合の管理会社である横浜市住宅供給公社との情報共有・連携を図りながら、利用者の方々が安心して、かつ快適に過ごせる環境の維持に努めます。

【使命5を達成するための具体的な取組】

取組 1 保守管理業務・環境維持管理業務の年間スケジュール

関係法令および当施設の業務基準を遵守し、以下の年間スケジュールにより適切な維持管理を行います。点検報告における不具合箇所については、常にリスク管理を行い、優先順を明確にした修繕計画を策定し、今後も大規模修繕発生の抑制に努めてまいります。

「ホール内設備保守点検・清掃」年間予定表

区分	管理業務内容	回数	令和4年4月1日～令和9年3月31日													
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
施設 保守 管理 業務	1. 「ホール客席椅子（連結椅子）」保守点検	年/1回														○
	2. 「キヤリア・会議室・楽屋2F行 イングホール」保守点検	年/1回	○													
	3. ホール・舞台機構設備															
	・「吊る機構設備」保守点検	年/1回							○							
	・「床機構設備」保守点検	年/2回							○				○			
	・「操作盤・制御盤」保守点検	年/1回									○					
	・「CPU管理装置」保守点検	年/1回			○											
	4. ホール・音楽ルーム・舞台照明設備															
	・「ホール舞台照明設備」保守点検	年/2回		○									○			
	・「音楽ルーム舞台照明設備」保守点検	年/1回											○			
	・「ホールケ/ソノビ/ソフ/ソラ付」保守点検	年/1回		○												
	5. ホール・音楽ルーム・練習室・舞台音響設備															
	・一般点検	年/1回							○							
	・精密点検	年/1回														○
	6. ピアノ															
	1) 「スタインウェイ製ピアノ」															
	・保守点検	年/1回									○					
・定期調律	年/2回									○					○	
2) 「ヤマハ製コンサートピアノ」																
・保守点検	年/1回												○			
・定期調律	年/2回											○			○	
3) 「ヤマハ製グランドピアノ」																
・保守点検	年/1回												○			
・定期調律	年/6回		○		○			○		○		○		○	○	
7. 「ホール16mm映写機」保守点検	年/1回						○									
8. 「エレベーター」保守点検・法定点検	月/1回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9. 「エスカレーター」保守点検・法定点検	月/1回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10. 「電動ブラインド」保守点検	年/1回														○	
11. 「冷水器」保守点検	年/1回						○									
管理 維持 業務	1. 清掃管理業務															
	1) 「日常」清掃	毎日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	2) 「床面」定期清掃	月/1回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	3) 「ガラス」定期清掃	月/1回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

11 施設の使命を達成するための取組 使命5

【使命5を達成するための具体的な取組】

「設備保守点検・保安警備業務年間予定表（管理組合委託業務）」

区分	管理業務内容	回数	令和4年4月1日～令和9年3月31日													
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
保守 管理 業務	1. 電気設備業務															
	1) 電灯・動力・調光盤他分電盤															
	・「電灯分電盤」月例点検	月/1回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・「動力分電盤」月例点検	月/1回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・「調光盤他分電盤」月例点検	月/1回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・「電灯分電盤」定期点検	年/1回														○
	・「動力分電盤」定期点検	年/1回														○
	2) 「ITV（監視装置）設備」定期点検	年/1回							○							
	3) 「放送装置設備」定期点検	年/1回							○							
	4) 「中央監視設備（空調自動制御盤）」															
	・「空調機」制御点検	年/1回														○
	・「ファンコイルユニット」制御点検	年/1回														○
	・「ファン発停」制御点検	年/1回														○
	・「温度計測」点検	年/1回														○
	・「室内湿度」制御点検	年/1回														○
	・「制御盤」点検	年/1回														○
	2. 空調設備業務															
	1) 「外気調和設備」															
	・月例点検	月/1回			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・定期点検	年/1回		○												
	・サラシフィルター洗浄	年/6回		○		○			○		○		○		○	
	・中性能フィルター交換	年/1回							○							
	2) 「空調機」															
	・月例点検	月/1回			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・定期点検	年/1回		○												
	・全熱交用サラシフィルター洗浄	年/6回			○		○		○		○		○		○	
	・ロールフィルター交換	年/2回							○						○	
	・中性能フィルター交換	年/1回							○							
	3) 「全熱交換機」プレフィルター洗浄	年/6回		○		○			○		○		○		○	
	4) 「ファンコイルユニット」															
	・定期点検	年/1回														○
	・サラシフィルター洗浄	年/4回				○			○		○		○		○	
	5) 「パッケージエアコン」															
	・定期点検	年/2回							○							○
	・サラシフィルター洗浄、異音・振動調査	年/6回		○		○			○		○		○		○	
	・フロン排出抑制法簡易点検	年/4回		○			○				○			○		
	6) 「ビルマルチエアコン」															
	・定期点検	年/2回							○							○
	・サラシフィルター洗浄、異音・振動調査	年/6回		○		○			○		○		○		○	
	・フロン排出抑制法簡易点検	年/4回		○			○				○			○		
	7) 「除湿機」															
	・サラシフィルター洗浄、異音・振動・漏水調査	月/1回		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・フロン排出抑制法簡易点検	年/4回		○			○				○			○		
	8) 「還風機」															
	・定期点検	年/1回								○						
	・サラシフィルター洗浄	年/6回			○		○			○		○		○		○
	9) 「制気口」															
・定期清掃（※3年周期、令和4・7年度実施）	3年/1回									○						
3. 給排水設備業務																
1) 「飲用水 中間水槽」定期点検、清掃	年/1回									○						
2) 「加圧給水ポンプ」定期点検、清掃	年/1回				○											
3) 「電気温水器」定期点検	年/1回				○											
4) 「飲用水 滅菌装置」次亜塩素酸ナトリウム購入	年/1回				○											
5) 「冷水器」フロン排出抑制法簡易点検	年/4回			○			○			○			○			
4. 環境衛生保全業務																
1) 「害虫駆除」生息状況点検・調査	月/1回		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2) 「空気環境測定」	年/6回		○		○			○		○		○		○		
5. 建築設備・消防設備法定点検等																
1) 「自動扉」整備定期点検	年/4回				○				○			○			○	
2) 「建築設備・特殊建築設備」定期検査	年/1回								○							
3) 「消防設備」定期点検	年/2回								○						○	
4) 「防火防煙シャッター」機能確認定期検査	年/1回								○							
5) 「防火扉」機能確認定期検査	年/1回								○							
6. 保安警備業務																
1) 館内の深夜巡回（日/1回）	毎日		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2) 日常巡回および緊急事態対処	随時		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

11 施設の使命を達成するための取組 使命5

【使命5を達成するための具体的な取組】

取組2 小破修繕実施計画

第4期における小破修繕費用は、5年間で11,000千円(税込)を見込んでおり、その内訳は下記のとおりです。

- ・現状小破修繕の必要な箇所(各空調設備の経年劣化、エントランス床面の汚れなど) ⇒ **4,950千円**
- ・期内で都度発生する修繕箇所の修復や、照明の球切れ交換等 ⇒ **6,050千円** (各税込)

【令和4年度の修繕予定箇所】

●全熱交換器 @4F 事務所内天井ファンモーターより異音(経年劣化)

*下記以外も、各所の空調設備の経年劣化が進んでいるため随時対応予定

●ビルマル室外機 @7F 屋根著しい経年劣化

●ファンコイルユニット @4F 事務所FCU 電動二方弁の不具合(送風状態)



取組3 大規模修繕と機器・備品類の更新について

【報告済み大規模修繕項目一覧】

■報告済み大規模修繕項目一覧		(単位:円、消費税等別途)	
項目	内容	対応	更新
エレベータ	各部品の耐用年数の経過	更新が必要	S 20,024,500
エスカレータ	各部品の耐用年数の経過	更新が必要	S 38,840,000
館内設備	①施設ITV設備(アナログからデジタルへ)	中央監視室のシステムと互換性を持たせ、セキュリティの向上を図るため、更新が必要	B 6,100,000
	②「ピアノ庫PAC(K-PAC-2)」(5Fピアノ庫) 圧縮機の吐出管温度が上昇	調査および修理が必要	S 1,382,000
	③施設内リモートユニット(各部品の耐用年数の経過)	更新が必要	S 10,300,000
	④「スライディングウォール」(4F会議室AB) パネルと天井面の隙間を塞ぐシールパネルが出てこない	経年劣化のため、業者による修理が必要	A ※1
電話交換機	事務所内施設電話交換機	各部品の供給終了のため更新が必要。故障した場合、運営上、影響大	S 1,519,600
舞台設備・備品	①ホール グランドピアノ/スタインウェイ	使用頻度高く、経年劣化のため更新	S 20,000,000
	②ホール グランドピアノ/ヤマハ	使用頻度高く、経年劣化のため更新	S 20,000,000
	③音楽ルーム セミコンサートピアノ/ヤマハ	使用頻度高く、経年劣化のため更新	S 5,000,000
	④ホール舞台床面の経年劣化・剥離、塗装の剥がれによる汚損	床面を削り出して補修・塗装の修繕が必要	S 7,000,000
	⑤ホール舞台床機御制御部品交換推奨期間経過のため交換	舞台床機構を制御する電子部品の交換必要	A 2,500,000
	⑥ホール、音楽ルームの舞台吊り物装置部品(ワイヤー、滑車等)の交換推奨期間経過のため交換	舞台上の吊り物バトン等のワイヤー、滑車等部品の交換必要	S 5,500,000
	⑦ホール照明設備の2期目の更新工事(電源ユニット部、制御部、スポットライト等)及び音楽ルームの照明設備の更新	ホール照明設備更新工事(2期目)と音楽ルーム照明設備の更新工事	A ※2
	⑧ホール客席座面劣化 張替え	座面の劣化(擦り切れ・穴)が著しいため張替え修繕	A 11,500,000
			149,666,100

※優先順位が高い順にS-A-Bとなっております
 ※1については現在手法及び金額含めて調査中
 ※2については既に報告済で、横浜市が業者に見積依頼

11 施設の使命を達成するための取組 使命5

【使命5を達成するための具体的な取組】

前ページに掲載した表は、大規模修繕が必要な箇所のリストです。

日常の巡回点検や清掃、小破修繕についてはこれまでも適正に行ってきましたが、現在使用中の設備や機器の中には、耐用年数の大幅な超過や、同モデルの生産中止で修理部品の調達が困難な物も目立ってきました。既に大規模修繕の必要性の報告をしている箇所の数も膨らんできており、本施設の持続可能性を高めるためには、これらの早急な解決が不可欠であることから、引き続き区や市に対して働きかけを行い、中・長期的な計画の見通しを立てたいと考えております。

【提案者が提案する指標】

大規模修繕の実行:

利用者の方々の安全性を第一に考えると、前ページに挙げた大規模修繕への対応は必須であるため、さらに行政への働きかけを行い、実行へと移していく。(大規模修繕費用:約1億5千万円)

【業務の基準で設定している指標】

目標値※提案者記載部分

数値が記載してある項目は、業務の基準で設定した数値のため変更しないでください。

	2年目	5年目
定量指標①:施設の管理瑕疵に起因する事故件数	0件	0件
定量指標②:法定点検等の実施	100%	100%
定量指標③:修繕予算の執行率	90%	90%
定性指標①:施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング * 毎年特定月(2月)のアンケートに加え、特定の利用団体に対するヒアリングを行い、評価の高い点と低い点を明らかにする。	利用者の評価を施設運営に活かしている。	改善点に対する再評価へのさらなるアクションをおこなっている。
定性指標②:管理運営費推移の要因分析 * 毎月の定例会議の際に管理運営費の費目と額を確認し、計画通りに推移しているか、していない場合の理由について明らかにする。	毎月のチェックがなされており、予算のコントロールがなされている	毎月のチェックがなされており、予算のコントロールがなされている

【上記の取組を行う理由】

老朽化が進む本センターにおいて、施設の長寿命化への取組は非常に重要です。特に来館者の方々の安全を担保するうえで、そのリスクの発見、早めの対処は、何よりも優先されるべき事項であるため、これまで同様、施設・設備の日常的な点検を強化し、修繕計画が確実に実行されているかをチェックする必要性があると考えております。

12 施設の使命を達成するための取組 使命6

【使命6】新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、徹底した感染防止対策の下で、安全に自主事業及び貸館業務を実施し、市民の文化活動の基盤として施設運営を継続する。

【使命6を達成するための具体的な取組】

○自主事業

取組1 新型コロナウイルスの影響下での自主事業展開のルール設定

新型コロナ感染症の流行状況は、刻一刻と変化し、緊急事態宣言などの発出に合わせ、都度、ガイドラインが市より発出されます。当館では、ガイドラインを基本としつつ対応を図りますが、チケット販売については、事業開催時の感染流行状況が不確定な部分もあるため、開催当日の感染状況を想定し、安全係数をかけ、さらに厳しい規制をかけることも館としての判断のもとに行います。ルールについては、HP 等にて明示いたします。

なお、チケット販売について 2020 年度は、閉館時期以外原則として席数の 50% で販売を行っていましたが、今年度 8 月以降の公演（大声を発しない事業に限り）より 75% まで引き上げる予定です。

また、実際の自主事業の開催にあたっては、当日のスタッフの感染対策、来場者の感染対策に万全を図ります。

来場者への感染症対策並びに事業中止の場合の返金の扱い等の周知についても HP 等で行います。

取組2 鑑賞型・体験型事業のインターネット配信の実施

現在も外出への不安が続く中、ご来館が難しい方も数多くいらっしゃいます。

感染症の影響が長期化した場合も、また、ソーシャルインクルージョンの観点からも、今後インターネット上でも文化芸術に触れられる機会を増やしていくことは、時代の要請ともいえます。

令和 3 年度の「ひまわりサマーフェスタ」では、各事業の撮影を行い、その模様をダイジェストで無料配信することを予定しており、本センターの事業に興味を持っていただく機会づくりとして、また、WEB での鑑賞機会のニーズの把握と、今後の展開への検証も兼ねています。

新型コロナウイルス感染症が落ち着いた折には、実際に足を運んでいただける人を少しでも増やすことと、長期化した場合には、WEB での文化芸術提供を積極的に行っていくための足掛かりといたします。

また、感染症の影響で公演が中止となった場合などは、アーティストの希望により、無観客コンサートで配信を行う形でアーティストの応援をしていくほか、この状況が長期化する場合は、歴史講座など、各ワークショップをご自宅で体験できる番組等の配信も検討していきます。

12 施設の使命を達成するための取組 使命6

【使命6を達成するための具体的な取組】

○施設運営

取組1 利用者が安全に過ごせる運営体制

本センターでは、港南区福祉保健センター指導のもと作成した「ひまわりの郷における新型コロナ感染症患者等発生に伴う対応マニュアル」のほか、ガイドラインの改訂に合わせた「対応要領」を作成し、感染予防、感染拡大防止、感染者が発生した場合、それぞれに対する行動を規定しています。全スタッフへのマニュアルの周知徹底により、安全な施設運営体制を築いています。

○スタッフ管理

勤務スタッフに対しては、勤務中のマスクの着用と適宜手指の洗浄や消毒用アルコールを用いた消毒に努めることを指導するとともに、**毎日のミーティングにおける健康状態の確認と、健康管理カードへの記録、保管を義務付け**、体調の悪い職員は出勤しないよう徹底しております。また、全スタッフを対象に、感染症予防研修も実施しました。

○施設管理

①設備・備品等について

感染防止対策として、トイレの蓋の設置や、換気のためのロビー窓への網戸の設置を新たに行いました。また、安全が担保されるまでの期間、下記の対策を継続して行っています。

- ・利用者の3密、長時間滞在を避けるため、**当面の間情報コーナーを閉鎖**
- ・**検温器の配備**：立立式自動検温器（3台）、非接触型検温器（8台/利用団体貸し出し用含む）
- ・**遮蔽板・遮蔽膜の設置**：受付、相談室に飛沫感染防止用アクリル板を設置するほか催物開催時に使用する移動式の遮蔽板を用意。
- ・**消毒備品の配備**：センサー付き自動消毒装置（エントランス/トイレ前）、プッシュ式消毒器（各施設入口）を設置するほか、各部屋の利用時には、利用団体に対し消毒グッズ一式（雑巾、次亜塩素酸ナトリウム、アルコール）を貸出。
- ・**備品類の清拭、消毒**：利用後の部屋内の机や椅子、備品類の清拭、消毒を徹底。
- ・**加湿器の配備**：事務室内、ロビーに設置
- ・**空気清浄機の配備**：調整室、舞台袖に設置
- ・**各部屋利用後の机、椅子、備品等の清拭、消毒の徹底**

②利用者に対して

- ・**来場者のデスタンス確保**：床、エレベーター、エスカレーターにサインを設置しているほか、密になる可能性がある場合は、スタッフによる呼びかけ、人員整理を行う。
- ・**適切な情報提供と対応**：緊急事態宣言等による利用制限の情報提供や返金などの対応を適切に行う。
- ・**感染症予防啓発活動**：行政が発行する広報用チラシや感染防止対策用チラシ（自主作成）や、LINE コロナお知らせシステム（神奈川県）等の情報を掲出し、周知徹底を図る。

③帰宅困難者一時滞在施設としての対策

受け入れ時の検温、三密および大声発声の防止、マスク着用、手指消毒、使用物品等の消毒の徹底を図ります。

12 施設の使命を達成するための取組 使命6

【使命6を達成するための具体的な取組】

○収支見込の考え方(令和4年度収支見込みでの比較)

収支についての考え方

収入の部		回復期	非常事態時		(税込、単位：円)
科目	令和4年度	令和4年度	令和4年度	説明	
指定管理料	142,619,000	142,619,000	142,619,000	横浜市より	
利用料金収入	18,000,000	18,000,000	14,000,000	令和2年度の影響と同等と見なす。	
自主事業収入	6,948,000	6,948,000	3,474,000	令和2年度の影響と同等と見なす。	
雑入	405,000	405,000	405,000		
収入合計	167,972,000	167,972,000	160,498,000		
支出の部		令和4年度	令和4年度	説明	
人件費	67,500,000	67,500,000	67,500,000	※在宅勤務になった場合も支払い発生	
給与・賃金	59,400,000	59,400,000	59,400,000	正規・非正規職員含む	
社会保険料	5,400,000	5,400,000	5,400,000		
通勤手当	2,700,000	2,700,000	2,700,000		
健康診断費				健康診断にかかる費用は給与・賃金を含む	
勤労者福祉共済掛金					
退職給付引当金繰入額				退職給付引当金にかかる費用は給与・賃金を含む	
事務費	8,092,000	7,492,000	7,492,000		
旅費	50,000	50,000	50,000		
消耗品費	500,000	500,000	500,000	新型コロナ対策費を含む	
会議備い費	50,000	50,000	50,000		
印刷製本費	2,000,000	2,000,000	2,000,000	(外注印刷・内製印刷機及びコピー機使用料等)	
通信費	1,200,000	1,200,000	1,200,000	(電話代・インターネット回線・郵便・宅配等)	
使用料及び賃借料	2,682,000	2,082,000	2,082,000	広告等縮小	
横浜市への支払分	82,000	82,000	82,000	行政目的外使用料	
その他	2,600,000	2,000,000	2,000,000	(広告看板) 上大岡駅・バス・ミナト開催告知、自主事業駅貼り広告分	
備品購入費	300,000	300,000	300,000		
図書購入費	50,000	50,000	50,000		
施設賠償責任保険	330,000	330,000	330,000		
職員等研修費	100,000	100,000	100,000	講習会謝礼等	
振込手数料	30,000	30,000	30,000		
リース料	800,000	800,000	800,000	写真印刷費リース代・インク代金	
手数料					
地域協力費	0	0	0		
事業費	11,580,000	9,006,000	9,006,000	密になるものの事業を中止して、規模を縮小して対応。	
自主事業費	11,580,000	9,006,000	9,006,000		
管理費	77,000,000	74,500,000	74,500,000		
光熱水費	12,500,000	10,000,000	10,000,000	施設利用減少による。令和2年度決算を参考(休館期間を除く)	
電気料金	5,600,000	4,480,000	4,480,000		
ガス料金	4,675,000	3,740,000	3,740,000		
水道料金	2,225,000	1,780,000	1,780,000		
清掃費	10,000,000	10,000,000	10,000,000		
修繕費	1,800,000	1,800,000	1,800,000	5年間で1100万円の予定。設備更新も含む	
機械警備費	2,600,000	2,600,000	2,600,000	夜間巡回	
設備保全費	16,900,000	16,900,000	16,900,000		
共益費	33,200,000	33,200,000	33,200,000	横浜市住宅供給公社ゆめおおおか管理組合支払い分	
公租公課	0	0	0		
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	3,800,000	2,000,000	2,000,000		
本部分	1,500,000	0	0	本部分の事務経費を無しとする	
当該施設分	2,300,000	2,000,000	2,000,000	予備費として、臨時技術員費用含む	
支出合計	167,972,000	160,498,000	160,498,000		
差引	0	0	0		
自主事業費収入	6,948,000	3,474,000	3,474,000	回復期の自主事業比率60%に対して38.6%	
自主事業費支出	11,580,000	9,006,000	9,006,000		

新型コロナウイルスの影響が長期化した場合、上記のとおり、令和2年度の実績をベースに収支予測を立てます。
貸館や自主事業収入が減った場合でも適正な運営が持続できるよう、適宜支出を見直しながら運営していきます。

13 利用料金の考え方と具体的な料金設定、支払方法や割引料金・減免等の運用方法の考え

・料金設定(附帯設備については、様式 25(5年間の収支及び収支バランス)の「利用料金収入」欄に附帯設備も含めた収入を記載してください。[上限額は、1式又は1台、1日につき8,000円])。

【利用料金の設定】

※網掛け部分は変更できません。

(単位:円)

区分 種別		午前(9時～12時)		午後(13時～17時)		夜間(18時～22時)		1日(9時～22時)		1日(上限額)	
		平日	土日、休日	平日	土日、休日	平日	土日、休日	平日	土日、休日	平日	土日・休日
ホール	入場料等を徴収しない場合	12,500	15,500	17,500	21,000	19,500	21,000	49,500	57,500	49,500	57,500
	入場料等を徴収する場合	21,000	24,500	29,000	36,000	32,500	36,000	82,500	96,500	82,500	96,500
ギャラリー	入場料等を徴収しない場合							3,400	3,400	3,400	
	入場料等を徴収する場合							5,200	5,200	5,200	
楽屋A		600	600	600	600	600	600	1,800	1,800	3,600	
楽屋B		400	400	400	400	400	400	1,200	1,200		
楽屋C		1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	3,600	3,600		
会議室(1室使用)		1,400	1,400	2,000	2,000	2,200	2,200	5,600	5,600	5,600	
会議室(分割使用)		700	700	1,000	1,000	1,100	1,100	2,800	2,800	2,800	
			9:15～12:15	12:45～14:45	15:00～17:00	17:30～19:30	19:45～21:45	1日(9時～22時)	1日(上限額)		
音楽ルーム	平日	2,500	1,900	1,900	2,100	2,100	10,500	10,500			
	土日、休日	3,300	2,200	2,200	2,400	2,400	12,500	12,500			
練習室A	平日	900	700	700	750	750	3,800	4,300			
	土日、休日	1,100	750	750	850	850	4,300				
練習室B	平日	700	450	450	500	500	2,600	4,300			
	土日、休日	800	500	500	550	550	2,900				

13 利用料金の考え方と具体的な料金設定、支払方法や割引料金・減免等の運用方法の考え**(1) 利用料金設定について**

15年間の実績を踏まえ、今までの料金体系に変更は加えないこととしました。

値上げは、度々ご利用いただくお客様への負担につながり、値下げを行った場合、サービスの低下に繋がる可能性も出てくるため、現状維持といたします。現在行っている各種割引につきましては、継続いたします。

(2) ホール割引料金の設定について**①ホールの直前割引制度を継続**

ご希望日から数えて 14 日を切ったホールの練習利用のお申込みに対して施設利用料から 50%を割引く制度については、利用される方が堅調に増えてまいりました。

ご希望日から数えて 28 日を切ったホールの練習利用に対し、施設利用料を 30%割引く制度と併せて、利用される方への周知を引き続き進め、空きコマ削減に尽力いたします。

②リハーサル割引

本番当日前 28 日以内にリハーサルを行いたいというお客様には、本番当日と同じセッティングでリハーサルを行うことが出来る環境を整えるとともに、施設使用料金を 30%割引いたします。

付帯料金は別途かかっていますが、比較的安価でご利用いただけるように努めてまいります。

③準備&リハーサル料金

本番同日に限りますが、本番時間の前区分を準備&リハーサルでご利用いただく場合、施設使用料を 30%割引いたします。この制度は、ご予約時のお支払いから適用されるため、お得に利用することが可能になります。

割引制度	割引率 等
①ホール直前割引制度	14 日前からの練習利用のご予約で施設使用料 50%割引 28 日前からの練習利用のご予約で施設利用料 30%割引
②リハーサル割引	本番当日前 28 日以内のご利用で施設使用料 30%割引
③準備&リハーサル料金	同日に限り本番の前区分の施設料を 30%割引

(3) 付帯設備利用料の改定について**①ドラムセットおよび譜面台の利用料改訂**

練習室 A・B に各 1 台設置しているドラムセットは、老朽化が進み、時折破損が見受けられます。ドラムはメンテナンスを頻繁に行う必要性があり、備品も短いタームで更新が必要なため、維持管理に多くのコストがかかります。

令和 3 年度中に更新を予定しているため、それを機に、利用料金を現行の 100 円から 200 円に変更したいと考えております。

また、ホールの指揮者用譜面台については、それほど利用頻度は高くはありませんが、通常の譜面台との差別化を図り、料金を 100 円から 200 円に変更します。

13 利用料金の考え方と具体的な料金設定、支払方法や割引料金・減免等の運用方法の考え**②電源使用料の新設**

昨今では、ホール・音楽ルームにおける持ち込み機材での撮影・録音が増え、電源のご利用が多くなってまいりました。1kW (100V10A) 当たり、200 円の電源使用料を新設したいと考えております。

ただし、付帯設備をご利用の場合は、電源使用料はいただきません。

令和 2 年度に新設したネット回線使用料を含め、付帯設備使用料につきましては、適宜設備の修繕や更新等に有効活用させていただきます。

(4) 支払方法について

これまで、施設利用料の支払方法につきましては、対面で現金での収受に限らせて頂いておりました。

ご利用前に、利用目的や内容を確認させていただく必要もあり、一度は必ずご来館いただき、直接お話を伺った上で、お支払いもお願いしておりましたが、大金を持ち歩くのが心配な方、現金の持ち合わせの無い方等の利便性も考慮し、クレジットカード、電子マネーでのお支払いを検討いたします。

キャンセル時のご返金につきましては、決済システムの状況によって異なりますが、お客様へのご負担にならないように努めてまいります。

市民利用施設予約システムで決済対応が可能になった場合は柔軟に対応させていただきます。

(5) 施設利用料の減免について

横浜市区民文化センター条例第 15 条、ならびに同施行規則第 12 条に則り、横浜市が共催する文化事業の実施のために利用する場合に限り利用料金の 5 割相当額を減免いたします。

そのほか、本センターと共催で行う文化事業に関しては、基本的に 2 割相当額を減免いたします。

14 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力

【収入向上施策】

取組1 公演やワークショップ、発表会の撮影サービスによる収入アップを図る

持ち込み機材で撮影をされているお客様の増加や、配信ニーズの高まりにより、公演や発表会等の撮影需要はますます増えると思われることから、本センターによる撮影サービスメニューを新たに用意したいと考えております。民生用撮影カメラによる定点撮影から、プロのカメラマンによる番組制作まで、幅広いメニューをご用意し、お客様のご要望に対応するべく準備してまいります。

撮影したデータについては DVD・メール等、ご希望に応じた形態でお送りし、公演の記念・記録としてご活用いただきたいと思います。

これらのサービスをベースに、ひまわりの郷 HP での紹介や自主事業の有料ライブ配信へつなげていくことも検討していきたいと考えています。

取組2 ロケーションサービスの受け入れによる収入増と知名度アップを狙う

代表団体である京急アドエンタープライズでは、京急線駅構内や電車内、京急百貨店や各種施設で撮影を希望する番組制作・映画制作会社、出版社等を対象に、あらゆるロケの相談窓口となっています。

対象ロケ地紹介ページに、本センターの施設紹介を掲載し、夜間や利用時間の少ないコマを利用して撮影の受け入れを行うことにより、収入増を目指すとともに、本施設の知名度アップを狙います。



取組3 貸館利用団体向け付帯有料サービスメニューの拡充

①フライヤー・チケットの制作・印刷サービスの提供

ギャラリーやホールの貸館利用で行われる催事の際の、チケットやフライヤーの制作、印刷等の請負が可能であることを訴求し、ご要望に応じて有料で制作。他施設への郵送などもサービスメニュー化し、お客様の利便性の向上と、収益アップにつなげます。

②お弁当予約承り

演者やスタッフのお弁当等も、話題性も創出できるような季節ごとのメニューを京急百貨店と商品開発するなど、予約が承れる体制を整え、収益向上の一助とするとともに、利用者の方々の満足度アップ、話題性の創出へとつなげていきます。

14 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力

【経費削減施策】

取組 1 経費をかけない告知活動の強化

自主事業の案内告知について、ご希望の方に DM を郵送する対応を行ってきましたが、令和 3 年度より、経費削減を主目的として、それらを LINE に切り替えていく取組をスタートさせました。

さらなる告知関連経費の削減を進めるため、より費用対効果の高い告知手法を講じていきます。

前述の通り、新設した地域コーディネーターの広報活動として、facebook、twitter、YouTube チャンネル「ひまわりの郷チャンネル（仮称）」等を使った積極的なコミュニケーションを行っていくため、コミュニケーション効率の良い告知を実現します。

また、京急グループ施設との協働企画の開催により、グループ施設内の告知協力も交渉し、経費を最小限にできる方法を常に模索していきます。

取組 2 環境への配慮と省エネルギーへの取組

常日頃より、節電や空調温度のコントロール、またペーパーレス等、環境に配慮した省エネルギーへの取組は徹底しており、これ以上の削減は難しい状況にありますが、引き続き行ってまいります。

取組 3 一括購入等の消耗品費の削減

消耗品・什器備品等の購入に際しては、京急グループの流通ネットワークやスケールメリットを活かした、複数仕入れ、一括仕入れにより、購入コストを圧縮しており、こちらも継続していきます。

15 5年間の収支及び収支バランス(指定管理料の提案含む)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	説明
指定管理料	142,619,000	142,619,000	142,619,000	142,619,000	142,619,000	横浜市より
利用料金収入	18,000,000	20,250,000	22,800,000	24,500,000	25,000,000	令和7年度で新型コロナからの回復と見込む
自主事業収入	6,948,000	8,403,000	9,418,500	9,471,000	9,576,000	
雑入	405,000	455,000	512,000	577,000	577,000	
印刷代	8,000	12,000	15,000	18,000	18,000	利用回復に伴い収入増
自動販売機手数料	247,000	293,000	347,000	409,000	409,000	利用回復に伴い収入増
その他()	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	
収入合計	167,972,000	171,727,000	175,349,500	177,167,000	177,772,000	

支出の部

科目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	説明
人件費	67,500,000	67,500,000	67,500,000	67,500,000	67,500,000	
給与・賃金	59,400,000	59,400,000	59,400,000	59,400,000	59,400,000	正規・非正規職員含む
社会保険料	5,400,000	5,400,000	5,400,000	5,400,000	5,400,000	
通勤手当	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	
健康診断費						健康診断にかかる費用は給与・賃金に含む
勤労者福祉共済掛金						
退職給付引当金繰入額						退職給付引当金にかかる費用は給与・賃金に含む
事務費	8,092,000	8,522,000	8,952,000	9,382,000	9,712,000	
旅費	50,000	60,000	70,000	80,000	90,000	
消耗品費	500,000	540,000	580,000	620,000	660,000	新型コロナ対策費を含む
会議ठी費	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	
印刷製本費	2,000,000	2,200,000	2,400,000	2,600,000	2,800,000	(外注印刷・内製印刷機及びコピー機使用料等)
通信費	1,200,000	1,300,000	1,400,000	1,500,000	1,500,000	(電話代・インターネット回線・郵便・宅配等)
使用料及び賃借料	2,682,000	2,732,000	2,782,000	2,832,000	2,882,000	
横浜市への支払分	82,000	82,000	82,000	82,000	82,000	行政目的外使用料
その他	2,600,000	2,650,000	2,700,000	2,750,000	2,800,000	(広告看板) 上大岡駅・R'カミナ開業告知、自主事業駅貼り広告分
備品購入費	300,000	330,000	360,000	390,000	420,000	
図書購入費	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	
施設賠償責任保険	330,000	330,000	330,000	330,000	330,000	
職員等研修費	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	講習会謝礼等
振込手数料	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	
リース料	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	印刷機リース代
手数料						
地域協力費	0	0	0	0	0	
事業費	11,580,000	14,005,000	15,697,500	15,785,000	15,960,000	
自主事業費	11,580,000	14,005,000	15,697,500	15,785,000	15,960,000	
管理費	77,000,000	77,700,000	79,000,000	80,100,000	80,200,000	
光熱水費	12,500,000	13,000,000	14,000,000	15,000,000	15,000,000	施設利用に応じて増加を見込む
電気料金	5,600,000	5,824,000	6,272,000	6,720,000	6,720,000	
ガス料金	4,675,000	4,862,000	5,236,000	5,610,000	5,610,000	
水道料金	2,225,000	2,314,000	2,492,000	2,670,000	2,670,000	
清掃費	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	
修繕費	1,800,000	2,000,000	2,300,000	2,400,000	2,500,000	5年間で1100万円の予定。設備更新も含む
機械整備費	2,600,000	2,600,000	2,600,000	2,600,000	2,600,000	夜間巡回
設備保全費	16,900,000	16,900,000	16,900,000	16,900,000	16,900,000	
空調衛生設備保守	3,800,000	3,800,000	3,800,000	3,800,000	3,800,000	
消防設備保守	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	
電気設備保守	3,800,000	3,800,000	3,800,000	3,800,000	3,800,000	
害虫駆除清掃保守	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	8,500,000	8,500,000	8,500,000	8,500,000	8,500,000	各機材メンテナンス費用
共益費	33,200,000	33,200,000	33,200,000	33,200,000	33,200,000	横浜市住宅供給公社ゆめおおおが管理組合支払い分
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税						
消費税						
印紙税						
その他()						
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	3,800,000	4,000,000	4,200,000	4,400,000	4,400,000	
本部分	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	指定管理料の約1%を計上
当該施設分	2,300,000	2,500,000	2,700,000	2,900,000	2,900,000	臨時技術員費用含む
支出合計	167,972,000	171,727,000	175,349,500	177,167,000	177,772,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	6,948,000	8,403,000	9,418,500	9,471,000	9,576,000
自主事業費支出	11,580,000	14,005,000	15,697,500	15,785,000	15,960,000
自主事業収支	△ 4,632,000	△ 5,602,000	△ 6,279,000	△ 6,314,000	△ 6,384,000
管理許可・目的外使用許可収入	247,000	293,000	347,000	409,000	409,000
管理許可・目的外使用許可支出	82,000	82,000	82,000	82,000	82,000
管理許可・目的外使用許可収支	165,000	211,000	265,000	327,000	327,000

※令和4年度の利用料金収入についてはコロナの影響が残ると考え令和3年度の見込みの12.5%増で想定。以降令和5年・6年についても前年12.5%増とし、令和7年度でコロナ前に戻る予想。また、自主事業比率についても5年間を通して60%を目標に自主事業収入・支出を算出。

16 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用

取組1 京急グループネットワークをフル活用し、本センターおよび「ゆめおおおか」を文化芸術の発信基地へ

① 駅・商業施設利用者へ向けたミニコンサートの開催 (多くの人たちへ向けたアウトリーチ事業)

開設当初から課題となっている、本センターのアクセスのわかりにくさに対し、サインの増設やホームページでの案内強化等を行ってきましたが、構造上根本的な解決は難しいこともあり、駅・商業施設利用者が多く通過するウイング上大岡のイベントスペースを使用し、BGM 感覚で立ち止まって聞けるミニコンサートを開催し、多くの人たちへ音楽を楽しんでいただくとともに、本センターの認知にもつなげていきます。

② 京急百貨店との共催イベント、ワークショップの拡充

本センターと隣接する京急百貨店では、「COTONOWA」と称して、アート&カルチャー、ヘルス&ビューティー、ライフ&リビング、教養&スキルアップ、ママ&パパなどのカテゴリで文化芸術コンテンツを提供しており、百貨店内のバンケットルームなどでワークショップを行っています。コンサートや音楽系のワークショップを共同開催することで、文化活動拠点としての本センターの認知と新たなコミュニティ形成への可能性を広げます。

③ 百貨店人気催事と連動した企画を自主事業として展開

京急百貨店における人気催事である「大北海道展」「大九州展」「新潟展」などの開催時期に合わせて、各地域にちなんだ曲やアーティストのコンサートや、楽器、舞踏、クラフトのワークショップなどを開催することにより、お買い物を目的とした人たちへも関連の文化・芸術へ触れていただく機会とします。

同時期に①で述べたミニコンサートも行うことでゆめおおおか全体でお祭りムードを演出することも可能となり、より多くの方へのアプローチが可能となります。そのほか、「京急鉄道フェスタ」と同時開催で、「鉄道写真の撮り方」や「鉄道写真家と巡る港南区の鉄道写真スポット」等のワークショップやフィールドワークなどを検討予定です。

④ 本センターの自主事業公演来場者に対する施設内サービスの交渉

来場者のメリットとして、京急百貨店、ウイング上大岡の飲食店舗におけるワンドリンクサービスや、飲食料金割引サービスなどの導入を図り、相互送客することにより、告知の協力体制なども強化し、効率運営へもつなげていきます。

⑤ 京急サービス運営の「京急キッズランド」との連携による子育て支援コンテンツの展開

自主事業開催時における、保育士による絵本の読み聞かせ、折り紙・工作教室、栄養士による離乳食メニューの紹介などの子育て支援コンテンツの導入も可能であるため、それらも効果的に活用していく予定です。

16 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用

取組 2 開館 25 周年・アニバーサリー事業の展開

第 4 期最初の年、令和 4 年は、本センター「ひまわりの郷」の開館 25 周年、節目の年となります。

25 周年を記念し、第 1 回「ひまわり文化祭（仮称）」を開催します。

「ひまわり文化祭」は、本センターで文化芸術活動をするすべての人を対象とした、年に一度の文化祭とし、令和 4 年度を第 1 回目として、毎年開催いたします。

本センターの貸館利用においては、ギャラリーで行われる写真や絵画の展示会が非常に多く、同ジャンルの活動団体が複数存在していますが、同好の士でありながら、団体が異なると交わる機会が少ないのが現状です。それらの団体の合同発表会を年に 1 度の「ひまわり文化祭（仮称）」の中で開催し、参加者同士の交流の場を創出することで、新たな出会いや集いの機会へと促していきます。

加えて、文化祭のプログラムとしては、使命 1 に記載の体験型ワークショップの参加者による発表会も織り込むことを想定しています。

また、各参加団体の代表者による文化祭実行委員会を組織し、本センターと実行委員会により運営していきます。それにより、本センターを介したコミュニティの広がりや、人と人が有機的に結びつく接点の増加、強化に、つながり、実行委員の中から、リーダー的な存在となるキーマンが生まれてくる可能性も高まります。

本センターでは、そういった方々のサポートをすることで、さらに自発的な活動のしやすい環境を提供していきます。

取組 3 HP や SNS を最大限に活用したホールの魅力発信

公演アーティストのアーカイブと生の声をホームページ上で公開

第 3 期ではホームページをリニューアルし、施設案内ビデオについてもアップしておりますが、さらに文化芸術に関わる情報を豊富に紹介し、ページを見る楽しみが提供できるものとしていきます。

中でも、音響に定評のあるホールにまつわる情報については、積極的に掲載をしていきます。具体的な内容としては、今まで本センター公演を行った著名なアーティストのプロフィールやセットリスト等をホームページ上で紹介し、出演者に対して公演後の感想コメントをインタビューのうえ掲載するなどして、本センターで開催されるコンサートへの興味を促します。クラシック以外の主催公演や、貸しホール利用の実績等も含めて、多様な使い方が可能なことについても伝えられる内容とし、使命 4・取組 2 の中で紹介した地域コーディネーターによる地域と文化芸術をつなぐ情報発信のうちの、強化コンテンツとして位置付けた展開としていきます。

取組 4 舞台技術の提供により、地域とのつながりを深めるとともに収益

港南公会堂をはじめ、区内のそれぞれの団体・施設が催し物等で、より本格的な演出や舞台技術を必要とする、また要望する場合は、本センターの技術スタッフを派遣し、地域とのコミュニケーションを深め、より上質な舞台芸術の提供を実現します。

加えて、技術料による収入にもつなげていきます。

16 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用

令和4年の自主事業展開概要【一覧】

	タイトル	タイプ	場所	事業予算(税込)
■定番事業				
1	オアシスコンサートVol-1/ひまわりの郷コンサートシリーズ「春の三公演」	鑑賞型	ホール	¥2,370,000
2	オアシスコンサートVol-2/ひまわりの郷コンサートシリーズ「春の三公演」	鑑賞型	ホール	
3	オアシスコンサートVol-3/ひまわりの郷コンサートシリーズ「春の三公演」	鑑賞型	ホール	
4	オアシスコンサートVol-4/ひまわりの郷コンサートシリーズ「秋の三公演」	鑑賞型	ホール	
5	オアシスコンサートVol-5/ひまわりの郷コンサートシリーズ「秋の三公演」	鑑賞型	ホール	
6	オアシスコンサートVol-6/ひまわりの郷コンサートシリーズ「秋の三公演」	鑑賞型	ホール	
7	オアシスコンサートVol-7	鑑賞型	ホール	
8	オアシスコンサートVol-8	鑑賞型	ホール	
9	オアシスコンサートVol-9	鑑賞型	ホール	
10	オアシスコンサートVol-10	鑑賞型	ホール	
11	ウィークデーコンサートシリーズVol-1	鑑賞型	ホール	¥500,000
12	ウィークデーコンサートシリーズVol-2	鑑賞型	ホール	
13	45シアターVol-1	体験型	会議室	¥540,000
14	45シアターVol-2	体験型	会議室	
15	45シアターVol-3	体験型	会議室	
16	45シアターVol-4	体験型	会議室	
17	45シアターVol-5	鑑賞型	音楽ルーム	
18	45シアターVol-6	鑑賞型	音楽ルーム	
19	45シアターVol-7	鑑賞型	音楽ルーム	
20	45シアターVol-8	鑑賞型	音楽ルーム	
21	45シアターVol-9	鑑賞型	音楽ルーム	
22	ウェルカムキッズVol-1	鑑賞型	ホール	
23	ウェルカムキッズVol-2	鑑賞型	ホール	
24	ウェルカムキッズVol-3	鑑賞型	ホール	
25	ウェルカムキッズVol-4	鑑賞型	ホール	
26	ウェルカムキッズVol-5	鑑賞型	ホール	
27	ウェルカムキッズVol-6	鑑賞型	ホール	
28	こどもミーツオーケストラ	鑑賞型	ホール	¥500,000
29	ひまわり紀行Vol-1	鑑賞型	ホール	
30	ひまわり紀行Vol-2	鑑賞型	ホール	¥1,330,000
31	区民参画企画Vol-1/器楽ワークショップ発表会	鑑賞型	ホール	
32	区民参画企画Vol-2/ひまわりファミリーミュージカル	鑑賞型	ホール	
33	区民参画企画Vol-3/Kounan Street Dance Contest2023	鑑賞型	ホール	
34	区民参画企画Vol-4	体験型	ギャラリー	¥300,000
35	ひまわりサマーフェスタ2022	その他	全館	
36	その他ジャンルVol-1/クリスマスコンサート	鑑賞型	ホール	¥600,000
37	その他ジャンルVol-2	鑑賞型	ホール	
38	ミュージカルワークショップ	その他	音楽ルーム	¥1,250,000
39	器楽ワークショップ(フルート、ギター、三味線)	その他	音楽ルーム	
40	アートワークショップ	その他	ギャラリー	
41	アウトリーチ事業/9回	-	-	¥810,000
42	プラットフォーム事業/3回	-	-	
定番合計				¥9,600,000
■新規事業				
1	にぎわい座プロデュース公演Vol-1/落語	鑑賞型	ホール	¥1,300,000
2	にぎわい座プロデュース公演Vol-2/落語	鑑賞型	ホール	
3	解りやすいクラシック入門講座	鑑賞型	ホール	
4	アウトリーチ事業/3回	-	-	¥680,000
5	情報コーナー活用企画/3回	-	情報コーナー	
6	25周年記念ひまわりの郷文化祭	その他	全館	
新規合計				¥1,980,000
総合計				¥11,580,000

17 市の重要政策課題への対応**○「個人情報保護」についての対応**

個人情報保護法、横浜市個人情報保護条例に基づき、その利用目的の範囲で適切に取り扱っております。館独自の「個人情報保護方針」、「個人情報の取り扱いに関する基準」も設け、組織的、物理的、人的、技術的な面からのデータ管理の施策を講じています。

また、「職員の行動規範 10 か条」を策定し、職員全員を対象にした個人情報保護研修での読み上げを行うほか、個人情報保護に関する「守秘誓約書」の提出を義務付けています。

○「情報公開」についての対応

本センターにかかわる情報公開請求がなされた場合には、横浜市の保有する情報の公開に関する条例の趣旨を踏まえ、独自に策定した「情報公開規程」に基づき、みだりに個人情報が公にされないよう最大限の配慮をし、保有する情報の積極的公開に努めます。

また、本センターで保有する個人データの開示については「指定管理者の保有する保有個人データの開示等の請求に関する標準規程」に準拠した独自の規程「港南区民文化センターが保有する保有個人データの開示等の請求に関する規程」を定め、適切な対応を図っています。

○「人権尊重」についての対応

横浜市人権施策基本指針に則り、施設利用をされる誰に対しても、差別のない公平、公正なサービスを提供するユニバーサルサービスの精神をもって、適切な対応を図ってまいります。

職場での事例や人権研修などを通じ、常日頃より個人個人が人権感覚、差別への感性を磨く努力をしております。

なお、いわゆるヘイトスピーチやヘイト講演等が明らかな場合は、行政と連携して、迅速かつ適切にその対応にあたります。

○環境への配慮に対する取組

ごみの減量、省資源に向け、2025年までの「ヨコハマ 3R 夢プラン」に基づき、Reduce、Reuse、Recycle に努めます。エコオフィス活動として、電気機器、電灯のこまめなON/OFF 活動による省力化を進めるほか、ペーパーレスも継続して進めてまいります。

空調温度は、冷房時 28℃、暖房時 20℃を目標に、利用者の理解のもと実現してまいります。なお、ホール公演本番時には例外的に冷房時 26℃、暖房時 22℃とし、ホスピタリティを損なわないよう配慮いたします。

そのほか、日常的に節電、節水に努め、無駄のない運営に努めます。

○障害者差別解消に対する取組

障害者に限らず誰もがアクセスしやすい文化的コミュニティを創出していくのが当館の使命の一つと考えております。

平成 28 年 4 月施行の障害者差別解消法の趣旨に則り、不当な差別を行わないことはもとより、障害への理解を深め、可能な限りハード面でのバリアフリー化を図るとともに、ソフト面でもユニバーサルサービスの精神を持った対応を行ってまいります。また、ホームページでの Web アクセシビリティ対応も既に対応していますが、公演情報取得、チケット購入、公演当日の対応などにかかる障害者にとっての様々な障壁を取り除く努力をして参ります。

平成 30 年 6 月施行の障害者による文化芸術活動推進に関する法律の趣旨に則り、(社福)横浜市リハビリテーション事業団が運営する「障害者スポーツ文化センターラポール上大岡」や、当館運営協議会の委員でもある障害者団体連絡会等との連携をとり、障害者にとって参加しやすく、取り組みやすい事業を展開します。

17 市の重要政策課題への対応

また、本センターの管理を担当する京急サービスの上大岡営業所では 8 名の障害者を雇用しており、全社的にユニバーサルな職場づくりやサービスの提供へ取り組んでいます。

○男女共同参画についての対応

正規職員については、各企業とも育児勤務時間制度、病気休暇制度、介護休暇制度を整備し、働きやすい労働勤務体制を敷いており、窓口業務を行う職員については、短時間勤務とし、女性が就労しやすい勤務体制となっています。

職員の構成は、窓口、事務所全体で女性 18 人、男性 8 人(2021 年 5 月現在)で、地域団体、利用団体、小中学校長会等の外部委員で構成される運営協議会については、女性比率は 36%となっています。(2021 年 5 月現在:男性 7 人、女性 4 人)

○市内中小企業優先発注に対する考え方

横浜市中企業振興条例の趣旨に則り、市内、区内中小企業を優先して修繕発注、物品調達を行います。

なお、ピアノ調律など特殊性のあるものについては、市外業者にゆだねる場合もあります。

以上

(様式2)

団体の概要

共同事業体名：京急グループ共同企業体

(令和3年5月現在)

(共同事業体でない場合は、上記の部分空欄にするか削除してください)

団体名	株式会社京急アドエンタープライズ			
所在地	〒220-0011 横浜市西区高島1丁目2番8号 ※法人にあっては登記簿上の本店所在地を、任意団体にあつては代表者の住所をご記入ください (市税納付状況調査(様式5同意書による)に使用します)。			
代表者	取締役社長 上野 賢了			
設立年月日	平成4年 12月			
沿革	平成4年12月/京急観光株式会社から分離・独立し、株式会社京急アドエンタープライズを設立 平成5年4月/横浜オフィス(横浜市西区鶴屋町)、東京オフィス(港区高輪)で営業開始 平成6年9月/本社事務所、横浜西区北幸へ移転 平成9年4月/本社事務所、横浜市港南区上大岡西(ゆめおおおかオフィスタワー21階)へ移転 平成21年2月/東京事務所、港区高輪(京急第2ビル3階)へ移転 横浜事務所、横浜市港南区上大岡西(ゆめおおおかオフィスタワー3階)へ移転 平成22年4月/横浜事務所、横浜市港南区上大岡西(三井生命ビル2階)へ移転 平成30年10月/東京事務所、港区高輪(高輪泉岳寺駅前ビル)へ移転 令和元年10月/本社事務所、横浜市西区高島へ移転 令和3年3月/東京事務所、横浜市西区高島へ移転			
事業内容等	■各種広告業務■交通広告業務■広告宣伝に関する企画、立案および制作■各種イベントの企画、立案および実施■ホームページの企画、立及び制作■各種情報の収集、統計、分析、販売並びに広告効果の測定■出版、写真、印刷、映画、コマーシャルの企画、立案及び制作■店頭広告、ネオン広告、電飾広告、宣伝広告■掲示板等の企画・設計および施工■語学、音楽、花道、茶道、絵画、陶芸、工芸品等の文化教室の経営■ホール運営の企画、立案および実施■その他、付帯関連する一切の業務			
主な実績	平成18年4月 横浜市港南区民文化センター指定管理業務 平成24年7月 横浜市 Dance Dance Dance @YOKOHAMA2012 クロージingleセブション運営業務 平成26年8月 横浜トリエンナーレ組織委員会 ヨコハマトリエンナーレ2014 オープンingleセブション運営委託業務 平成27年1月 横浜市「介護の日&よこはま健康スタイル」フォーラムイベント			
財政状況	年度	令和元年度 2019	平成30年度 2018	平成29年度 2017
(※直近3か年の事業年度分)	総収入	9,197,576千円	7,514,659千円	7,196,115千円
	総支出	8,542,427千円	7,107,349千円	6,845,886千円
	当期収支差額	410,186千円	246,448千円	236,484千円
	次期繰越収支差額	2,613,254千円	2,252,356千円	2,044,517千円
応募に関する担当連絡先				
連絡担当者	【氏名】	【所属】		
	【電話】	【FAX】		
	【E-mail】			
特記事項				

(様式2)

団体の概要

共同事業体名： 京急グループ共同企業体

(令和3年5月現在)

(共同事業体でない場合は、上記の部分を空欄にするか削除してください)

団体名	株式会社クラフト			
所在地	〒168-0073 東京都杉並区下高井戸1-18-12 Ksビル ※法人にあっては登記簿上の本店所在地を、任意団体にあっては代表者の住所をご記入ください (市税納付状況調査(様式5同意書による)に使用します)。			
代表者	代表取締役 岩田 晃			
設立年月日	昭和 57 年 1 月 6 日			
沿革	昭和56年9月 東京都世田谷区にて創業 舞台スタッフ業務実施 昭和57年1月 株式会社クラフト設立 昭和57年 ホール運営管理業務開始 昭和62年 企画制作業務開始 平成5年 デジタルコンテンツ業務開始 平成9年 本店移転			
事業内容等	文化施設の設計コンサルティング及び運営管理 照明設計及び操作 イベント企画・制作・演出・運営 デジタルコンテンツ企画・製作 映像ソフト製作 上記関連業務一切			
主な実績	■文化施設設計コンサルティング及び運営管理 森ビル関連文化施設・新都市ホール・新宿パークタワーホール・天王洲アートスフィア ■企画制作演出 長崎国体・岩手国体・茨城国体開閉会式/スポーツイベント/企業イベント/周年式典 ■照明 テーマパーク(浦安他)・イベント・舞台芸術・式典の照明デザイン及びオペレーション ■音響 コンサート、各種イベント音響設計及びオペレーション ■映像・デジタルコンテンツ 各種イベント映像素材製作/文化施設運営管理システム設計(森ビル・東京ガス・オペラシティ(チケット販売システム))			
財政状況	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
(※直近3か年の 事業年度分)	総収入	439,205千円	463,497千円	435,196千円
	総支出	444,705千円	458,803千円	450,045千円
	当期収支差額	△5,499千円	4,693千円	△14,849千円
	次期繰越収支差額	106,619千円	113,661千円	109,440千円
応募に関する担当連絡先				
連絡担当者	【氏名】	【所属】		
	【電話】	【FAX】		
	【E-mail】			
特記事項	内装仕上工業業東京都知事許可(般-1第132984号 令和元年8月5日~令和6年8月4日 プライバシーマーク使用許可認定番号第17000458(03)号 JIS Q 15001:2006 準拠 事業所 株式会社クラフト 令和2年3月23日~令和4年3月22日			

団体の概要

共同事業体名： 京急グループ共同事業体

(令和3年4月現在)

(共同事業体でない場合は、上記の部分を空欄にするか削除してください)

団体名	けいきゅうさーびすがしきがいしゃ 京急サービス株式会社			
所在地	〒220-0011 横浜市西区高島一丁目2番8号 京急グループ本社 15階 ※法人にあっては登記簿上の本店所在地を、任意団体にあっては代表者の住所をご記入ください (市税納付状況調査(様式5同意書による)に使用します)。			
代表者	代表取締役 榎野 敏弘			
設立年月日	昭和46年2月			
沿革	昭和46年2月 京急レジャーサービス株式会社設立(川崎市) 昭和52年8月 社名を京急サービス株式会社に改称 平成10年4月 本店を横浜市(港南区)に移転 平成18年4月 横浜市港南区民文化センター 指定管理業務開始 令和元年10月 本店を横浜市(西区)京急グループ本社へ移転			
事業内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・設備管理保守業務 ・警備業務 ・環境整備業務 ・産業廃棄物収集運搬業務 ・個人宅生活支援業務 ・緑地事業、生花事業 ・駐車場管理運営業務 ・保育園運営業務 ・その他サービス業務 			
主な実績	昭和62年 横浜駅東口地下街(ポルタ) 総合管理業務(設備管理・警備・清掃) 平成8年 上大岡・京急百貨店 総合管理業務(設備管理・警備・清掃・駐車場管理) 平成26年 横須賀市体育会館 施設指定管理業務 平成27年 横須賀市自転車等駐車場 指定管理業務			
財政状況	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
(※直近3か年の 事業年度分)	総収入	13,006,373,397	12,929,088,604	12,772,443,669
	総支出	12,143,074,223	12,158,341,240	12,108,269,653
	当期収支差額	535,328,685	598,043,661	358,667,780
	次期繰越収支 差額	4,440,972,154	4,967,511,355	5,213,179,135
応募に関する担当連絡先				
連絡担当者	【氏名】	【所属】		
	【電話】	【FAX】		
	【E-mail】			
特記事項				